

緑が丘地区に小学校を新設

26年4月開校めざす

10月18日、市と教育委員会は日本共産党八千代市議団への説明で、緑が丘地区に2026年4月の開校を目指し、新設の小学校を建てる 것을明らかにしました。予定地は旧遊技場跡地（パチンコサンシャイン跡地）に新設の小学校を建設し、新木戸小学校と一体的な運営も含め検討することになっています。

日本共産党のいいかわ英樹議員は議会で繰り返し緑が丘地域の学校の建設を求めてきました。これまでの経過について報告させていただきます。

市民の声とともに市政動かす

今回の決定は「新設校は必要ない」との市や教育委員会の姿勢を、保護者のみなさんはじめ住民の切実な願いが動かしたものであり、「市政の主人公は市民」であることが示されました。



緑が丘西地区の人口推移

2017	2,824人
2018	4,437人
2019	5,650人
2020	7,257人
2021	9,166人
2022	10,258人
2040	13,956人(計画)
2060	14,548人(計画)

新設校は喫緊の課題

八千代緑が丘地域は、東葉高速線の開通とともに発展した比較的新しい街です。

緑が丘西地区は、土地区画整理事業で人口14,000人、小学校2校、中学校1校を設置する計画でしたが、中学校はなく小学校は1校のみです。しかも、想定人口は15,000人と見込んでいます。



市民に寄り添う市政に

しわ寄せは子どもたちに

駅近くに建設中の大型集合住宅（618戸）の子どもたちは、遠く離れた西高津小学校に変更されました。

6月市議会で教育長は「大型集合住宅から西高津小学校まで、約1.9Km」と答弁。いいかわ市議は「異常気象と言われる中、猛暑や台風、交通安全の確保などリスクが大きい」と訴えました。

教育委員会は子どもたちを最優先に

今回の緑が丘地域への小学校新設は、3年後になりますが、隣接する子どもたちにとって大きな改善となります。一方で緑が丘地域の児童・生徒数は今後も増加します。引き続き子どもたちを最優先にした通学区域の見直しをすすめています。



1970年船橋市生まれ。一歳で高津団地へ。
西高津小、高津中、千葉英和高校卒。八千代市内で情報処理会社を経営。2018年市議会議員に当選。家族…妻と3人の娘。

いいかわ英樹
市議会議員
日本共産党

